

保護者・児童アンケートについて

12月に保護者アンケート、児童アンケートを行いましたので、その結果をお知らせします。
お忙しい中、アンケートに回答いただきありがとうございました。保護者と児童、どちらのアンケートにつきましても、全体的にはB評価以上（A B C Dの4段階）の結果でした。しかし、課題も見えますので、結果やいただきましたご意見をもとに今後の教育活動の充実に向けた取組に反映していきます。ご家庭や地域におかれましても、子どもたちとの関わりなどにおいて参考にしていただければ幸いです。

保護者アンケートの結果より

17項目について、A（よくできている）～D（まったくできていない）の4段階で評価していただき、また、記述欄にご意見をいただきました。集計につきましては、A～Dを次のように点数化し、評定値を1/10の位まで算出しました。

A…4点 B…3点 C…2点 D…1点

$$\text{評定値} = \frac{\text{Aの人数} \times 4 + \text{Bの人数} \times 3 + \text{Cの人数} \times 2 + \text{Dの人数} \times 1}{\text{回答者数}}$$

この評定値を次のような評価に表しました。

1.0以上1.7未満→D 1.7以上2.5未満→C 2.5以上3.3未満→B 3.3以上→A

No	評価内容	A	B	C	D	合計	評定値	評価
1	福井小は、小中一貫教育に取り組んでいる	22	44	0	0	66	3.3	A
2	福井小は、子どもたちに分かりやすい授業をしようと努力している	16	44	6	0	66	3.2	B
3	福井小は、学力を高める取組をしている	14	40	12	0	66	3.0	B
4	福井小は、家庭とともに、家庭学習の充実に取り組んでいる	15	45	6	0	66	3.1	B
5	福井小は、子どもたちの道徳性を高める取組をしている	10	48	6	1	65	3.0	B
6	福井小は、人権尊重の心や態度を育てる取組をしている	14	39	10	2	65	3.0	B
7	福井小は、子どもたちが登校しやすいように、子どもや保護者の相談にのっている	20	39	7	0	66	3.2	B
8	福井小は、子どもが学習に取り組めていないとき、保護者と一っしょに考えている	12	46	7	1	66	3.0	B
9	福井小は、正しい生活習慣や食習慣を付ける指導をしている	16	48	1	1	66	3.2	B
10	福井小は、子どもたちの体力づくりに取り組んでいる	22	42	1	0	65	3.3	A
11	福井小は、子どもの安全を守るために、保護者や地域と一っしょに取り組んでいる	23	39	4	0	66	3.3	A
12	子どもたちは、英語活動に楽しんで取り組んでいる	13	49	2	0	64	3.2	B
13	学習を通して、子どもたちはコンピュータの利用ができるようになってきた	11	45	7	1	64	3.0	B
14	子どもたちは、自然に親しんでいる	20	41	2	2	65	3.2	B
15	福井小は、子どもたちが将来の夢や生活を考えるような取組をしている	7	43	12	2	64	2.9	B
16	学校だよりや学年・学級だよりなどは、知りたいことを伝えている	22	38	6	0	66	3.2	B
17	福井小は、保護者や地域とともに子育てをしようとしている	20	40	5	1	66	3.2	B

- ・66家庭より回答をいただき、回収率は75%でした。
- ・『小中一貫教育』については最も高い評定値で、回答いただいたすべての方から「よくできている・だいたいできている」との回答でした。2年間の小中一貫教育を総括し、3年目につなげます。
- ・『子どもたちの体力づくり』『子どもの安全を守るために保護者や地域と一緒に取り組んでいる』についても高い評定値でした。朝マラソンや朝なわとびに取り組んできたことや地域の皆さんのご協力による安全教室や登下校の見守りに対して高い評価をいただいたものと思います。
- ・『分かりやすい授業をしようと努力している』『正しい生活習慣や食習慣を付ける指導』『英語活動に楽しんで取り組んでいる』なども高い評定値で、授業に集中できるよう基本的な生活習慣を身に付ける取組・働きかけを意識して行ってきたことへの評価をいただいたと思います。しかし、これらと比較して『学力を高める取組』『道徳性を高める取組』『人権尊重の心や態度を育てる取組』については、B評価とはいえずやや低い評定値でした。この結果を踏まえ、保護者の協力をいただきながら、更に学力向上を図る取組、豊かな人間性、たくましい子どもの育成に向けた道徳教育の充実や人権教育の推進等、知・徳・体のバランスのとれた教育を推進していきます。
- ・『家庭とともに家庭学習の充実に取り組む』『登校しやすいように子どもや保護者の相談にのっている』『子どもが学習に取り組めていないとき保護者と一緒に考えている』についても一定の評価をいただいておりますが、これからも保護者の皆さんとの連携を大切にしていきます。
- ・評定値が最も低かったのは、『将来の夢や生活を考えるような取組』でした。学校の取組として、6年生修学旅行では職業体験施設を訪問し、興味のある職業を体験しています。城北中学校区教育推進協議会では、事業の一つとして5年生を対象にした「夢実現講演会」を実施して、城北中学校区の先輩にあたる城北中学校卒業生から夢を実現させた話を聴く機会を設けています。また、社会見学や総合的な学習の時間に様々な仕事を見学したり、その仕事に携わる方々からやりがいや苦労等のお話を伺ったりしています。今後も引き続き学習や体験を通して広く社会に目を向けることによって憧れや夢を持ち、その実現に向けて「〇〇を頑張る」「自分はこうしたい」という思いを引き出したいと思います。そして、夢に向かって根気強く努力できる力を付けさせたいと思います。
- ・記述欄には、「家庭との連携について」「子どもたちのスマホ普及について」「パワーアップ週間や家庭読書の取組について」「教師の子どもへの対応について」「学校の雰囲気について」などご意見をいただきました。貴重なご意見として、教育活動に活かしていきます。